

山形県の古木・名木 No.83

岩神権現のクロベ (いわがみごんげんのくろべ)

最上郡大蔵村大字赤松

クロベは、別名ネズコとも呼ばれ、高地に他の針葉樹と混生したり尾根や岩上に多く生育する常緑高木で、ムササビが巣をつくる木として知られる。

この岩神権現のクロベは、通常存在しない平地にあるが、地すべりにより上から滑り落ちて現在の位置に定着したと言われる。

二本の株立ちで太い方の幹周りは6.42mで、二本合わせると12.2mとなり、樹高25mの日本最大級のクロベで、平成11年2月26日、村指定天然記念物に指定されている。また、林野庁の「森の巨人たち百選」の選定樹である。

〔山形県森林協会〕

(案内略図)



【森林やまがた108号(2007年3月)記載】